

提案事業調書

1 団体について 団体名 特定非営利活動法人世界SHIENこども学校のびすく

団体の活動目的	すべての子どもと、子どもに関わる者に対して、必要とされる支援事業と要保護児童支援事業、教育事業を行い、地域と連携しながら人間力の向上を目指し、安心・安全・活発な環境づくりと子どもの居場所作りを行う。それと共に、SHIEN（してもらう・してあげる）の心を広めることを行うことで、未来ある子ども達の健やかで幸せな成長に寄与することを目的とする。訪問介護事業では、すべての方が、住み慣れた自宅で、今までの暮らしに寄り添い、安心・安全に過ごして頂けるよう SHIEN することも目的とする。
これまでの活動実績	・子ども主体の体験型のイベント 川遊びや子供料理店を行う。子ども料理店では、子供たちで料理を作り、保護者の方を対象に販売する体験。 ・答志島サバイバル合宿 離島でのサバイバル体験。一から道具をつくり、魚釣りや漁で食料調達を行う。普段の当たり前なことが幸せや大切なんだと気づくことができる体験。 ・居場所、環境づくり プロセスデザインとランドデザインを行い、対話や実践のコーディネートとファシリテーションをしている。関係性のない所から対話を推し進め、思いを重ね合い、探究・行動し、実現していくことをサポートしている。（津東高校、津西高校課題探究授業、SDGs フォーラム） ・こどもまち一丁目 子どもたちで一つのまちを創り上げる。子どもたちが仕事を自分達で決め、仕組みから給料まで考える。こどもまちだけで使える通貨を作り、子どもたちが働き、仮設紙幣を稼いだりしながら社会の仕組みを体験。保護者は手出し口出し無用のルールでお客さんや社長役となり、普段と違う子ども達との関わりをすることで、子ども達の力を知る機会にもなる。 ・昨年度から冒険クラブ事業 経ヶ峰登山、スノーボード、釣り、キャンプ、宮川川下り、陶芸、アスレチック ・津西高校 2 年生課題探究授業・人権学習授業 1 年生受け持ち ・津東高校 1 年、2 年の課題探究授業受け持ち ・三重県少子化対策課次世代育成応援ネットワーク運営委員わくわくフェスタ ・三重県少子化対策課オンライン座談会座長 ・津市 3 商店街対話サロンコーディネーター ・丸之内・津新町商店街対話サロンコーディネーター ・三重県生涯学習センターみえ生涯学習ネットワーク共催講座開催など
交付金を受けた過去の実績	☐初めて ☒津市市民活動団体設立等支援交付金（平成 27 年度） ☒津市市民活動推進交付金（1 回）

2 提案事業について

事業名	ハイキング宝探し大冒険キャンプ
公益活動の分野	☐ ① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 ☒ ② 社会教育の推進を図る活動 ☐ ③ まちづくりの推進を図る活動 ☐ ④ 観光の振興を図る活動 ☐ ⑤ 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 ☐ ⑥ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ☒ ⑦ 環境の保全を図る活動 ☐ ⑧ 災害救援活動 ☐ ⑨ 地域安全活動 ☐ ⑩ 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 ☐ ⑪ 国際協力の活動 ☐ ⑫ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 ☒ ⑬ 子どもの健全育成を図る活動 ☐ ⑭ 情報化社会の発展を図る活動 ☐ ⑮ 科学技術の振興を図る活動 ☐ ⑯ 経済活動の活性化を図る活動 ☐ ⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 ☐ ⑱ 消費者の保護を図る活動

団体名 特定非営利活動法人世界SHIENこども学校のびすく

団体が解決を目指す津市の地域課題 【津市の現状と課題を具体的に記載してください】	現在津市では、屋内子育て広場の推進は図られているが、屋外での子育て広場として確立されていない。そのため、基礎体力の低下、運動能力の低下、成長の遅れ、安全への知識など不足している。そして津市は通勤族も多く共に生活している町である。そのため、地域に馴染めない、行き場所を求めている子どもたちも多く存在する。また地域全体として、核家族化や共働き家庭の増加により、親子で子育て全般を補いきれない現状がある。また津市の特色として、中山間地域の過疎化や限界集落化が進行中である。今ある資源を活かしながら、子どもたちの目線で何か新たな事が出来ないか？新しい発想は出ないかなど、現状を見ながら考え提案があれば出来るようにしたい。そう考え当法人が提案させてもらいたいのが、屋外子育て広場の実行と中山間地域への新たなチャレンジ発見の探検である。家族では出来ない部分や行政でも管理出来ない部分を、民間の当法人が担い、津市内の子どもたちの基礎体力、運動能力、成長の遅れ、安全への意識など、子どもたちの生きる力を育みながら子育て応援を行い、通勤族の居場所と交流場所の提供や、中山間地域の活性化方法模索や孤立化防止、人口減少、人口流失、少子化などの問題を軽減させ、子育てしやすい町へと変化し、津市自体の住みやすい町づくりへの一役を担えるよう開催する。
事業の内容 【場所（どこで） 対象（誰に・何人に） 内容（どうする） を記載してください。】	実施場所 三重県津市榊原町～白山町青山高原地内 対象者 津市在住の小学生 20 名（4 年生以上） 工程 1 日目 榊原温泉駅→青山高原保険休養地キャンプ場（約 7 時間） 工程 2 日目 青山高原保険重要地キャンプ場→東青山四季のさと（約 7 時間） 内容・・・地図を頼りに山歩きを行い、子どもたちの目線で、自然の宝を活かした活性化方法がないか？そんな提案がある場所を発見した場合は、その場で対話し、写真

この調書は、公開資料となります。

第2号様式

	や地図、デザイン、発想などスケッチを行い持ち帰るようにする。その持ち帰った案があれば、事業報告時に提案として一緒に提出し、今後に生かせるようにする。 1 日目 榊原温泉口駅周辺で、歩くルート地図を参加者全員に渡す。ルートを見ながら行動予定を決める。何時にこの地点まで、どこでお昼を食べて、何時到着目標かなど。 2 人 1 組の班編成を行い、テントや食料など 2 日分の準備を自分たちで行う。カメラは持参してもらおう。筆記用具は、主催者側から支給する。班で行動はするが、基本は全体行動で実施する。スタッフは担当班につき行動する。担当班がルート途中で発見やスケッチなどする場合は付き添う。 キャンプ場到着後、受付を行い、テントサイトへ行き各班でテントを張る。張れた班から食事を行う。食事は、火起こしから全て行い、近代科学は使用しない。協力しながら全てを行う。夜は、各テントで振り返りや明日の打合せなど行う。 2 日目 朝ごはんから片付けまで、行動計画通りになるよう自分たちで全て行う。準備が出来次第出発し、青山高原山頂付近までは初日と同じコースを通り、途中分岐を右折し、ゴール地点である東青山四季のさそを目指し歩く。初日と同じように、中山間地域の宝を探しながら実施する。 ゴール地点で振り返りを行い、情報共有し来年度にも繋げられるようにしていきたい。 津市の榊原と白山の中山間地域を歩くことで、現状を知り、自然を知り、宝を発見する旅となる。参加者が何を感じ、何が宝と感じ、何をどのように工夫すればいいのかなど、そんな意見が出る事業にしたいと思う。
本年度新たに取り組む内容 又は 前年度から発展させた内容	今年は、中山間地域の課題探究をしながら、屋外子育て広場の実践となる新たな取り組みである。また、親から離れ、自身で仲間と協力しながら行い、子どもたちだけの子育て広場となるようにする。
事業を行うことで期待される成果とその目標 【目標を数値で示してください】	森林や自然に興味を持つ子どもたちが増える事が予想される。また、津市に提案できるアイデアが出てくるかもしれない。また、生き物などに興味を持ち、違う形で中山間地域の活性化を起こすかもしれない。親から離れ行動する事で、人間本来の持っている力や、現在の恵まれた環境が当たり前ではないと気づくことで、人の有難さや、親の有難さ、物の有難さなど、大切なことを多く学ぶ機会となるだろう。また、生きる力が養われ、自分で考え、自分で解決する力が養われていく。それが大切だと知る事が出来る。またコミュニケーションが苦手な子どもたちも、助け合いの心が育まれ、大切さを学ぶだろう。屋外での子どもたちだけの子育て広場が定着すれば、先に記述した津市の抱える問題に対して、軽減できる行動となるだろう。その子どもたちが地域のリーダーとして活躍し、津市全体の子育て、教育機関へ与える影響は計り知れないと思う。今現在の生きる力の不足数を 100 としたなら、限りなく 0 となるだろう。

第2号様式

来年度以降の事業予定について	事業予定 3年は同じルートで実施し、調査結果を収集したい。その中で、子どもたちから出たアイデアを実現可能か分析し、企画提案が出来れば津市にしていきたい。場所や実施する提案が認められるよう段階を踏んで、この事業を継続させていきたい。4年目は、実際にその場所に行き、子どもたちで創り上げれるデザインや構想、下準備など行えれば良いと考える。子どもたちのアイデアが、津市の中山間地域の課題解決に役立てられるようになれば、未来へと続くと信じている。 自主財源確保の方向性 参加費制度は変えられない。ただ、大きな備品は利用可能な物もあるため、2回目以降の経費は抑えられる。命を守る必需品のため良品な物が必要になる。そのため、運営費として、当法人が行っている事業収益を合わせながら捻出したい。ただ、企業努力だけでは厳しい部分があるため、地域や住民など、どこかの支援は仰げるようにしたい。			
事業のスケジュール	4月	コース実地踏査	10月	10/5.6 ハイキング宝探し大冒険キャンプ開催
	5月	シミュレーション	11月	アンケートなどによる振り返り
	6月	安全対策・詳細計画	12月	来年度計画企画会議
	7月	津市・三重県・津市教育委員会・三重県教育委員会など後援申請	1月	他会場模索
	8月	チラシ作成	2月	補助金など申請
	9月	チラシ配布・参加者公募	3月	支援者募集チラシ作成、広報活動
実績報告書提出予定日		令和6年 12 月 20 日頃		

第3号様式

提案事業収支予算書

(収入の部)

項目	内訳・計算根拠	予算額
津市からの委託料、補助金 または交付金		200,000
自己資金	主催者負担金	470,694
他の補助金等収入		
事業収入	参加費 30,000円×20名(予定)	600,000
その他収入		
収入合計…①		1,270,694

(支出の部)

項目		内訳・計算根拠	予算額	市費充当予定額
交付対象経費	報償費			
	交通費			
	消耗品費	イベント名札30枚¥3,000、45Lゴミ袋¥2,000(100枚入り)、ゴム手袋¥4,000(300枚)、養生テープ¥4,500(¥900/2個)×5、アルミテープ¥6,000(¥2,000×3)、パラコード¥2,000(30m)、麻糸¥40,000(¥2,000×20人)、サバイバル食材費¥45,000(¥5,000×9)飲料水¥4,800(2L/36本)×20人、手提ゴミ袋¥3,000(100枚)、携帯トイレ¥12,500(80回分)、トイレトーパー¥1,000(18ロール)、浄水器¥45,000(¥9,000×5)、トング¥10,000(¥500×20)、クッカー¥30,000(¥3,000×10)、焚き火台¥30,000(¥3,000×10)、シェラフ¥120,000(¥6,000×20)	362,800	137,000
	印刷製本費	チラシ印刷代(20,000部×¥4)	80,000	20000
	燃料費	往復(25km×2)・現場移動など50km トータル100km 1L/10km走行計算 10L×¥165	1,650	
	光熱水費			
	通信運搬費	参加者資料郵送費 84円×20通	1,680	
	保険料	参加者レクレーション保険(1人/¥1500)×25名	37,500	10,000
	委託料			
	使用料及び賃借料	(テント場1張り/¥4,400)×15張り	66,000	33,000
	手数料			
	備品購入費(5万円以内)			
	その他経費			
	交付対象経費合計…A		549,630	
	交付金額(A×補助率) 上限20万円 ※補助率：初年度 3分の2、2年度目2分の1、3年度目 3分の1			200,000
交付対象外経費	人件費	12時間(1H/¥973)×7 (1H/¥1050)×3 二日分	239,064	
	食糧費	スタッフ飲食代金	10,000	
	備品購入費(5万円を超える部分)	テント¥352,000(¥32,000×11)・サバイバルナイフ¥40,000(¥2,000×20)・ライト¥50,000(¥5,000×10)	442,000	
	その他経費	救急用品購入費¥5,000・消火器¥25,000(¥2500×10)	30,000	
交付対象外経費合計…B			721,064	

※収入合計予算額と支出合計予算額は合致(①=A+B)

この資料は、公開資料となります。

添付書類 計算根拠のわかる見積書又はカタログのコピー